

天気は引き続き晴れ。この辺りでイルカが見られるはずでしたがこの日は魚影およびイルカ見学船をただけで残念な結果でした。

富岡港に近づくと海はエメラルドグリーンとなり、強烈な夕日を浴びる素朴な港はどこかの南国を想像させる様な美しいものでした。フェリー事務所の皆さんも大変親切に接して頂き、色々と助けて頂きました。これも旅の醍醐味ですね。夕食をとり海水浴場脇の旅館で温泉に浸かり最終日の行程に備えました。

17日(月・祝)は7:30に富岡港を出港。樺島、野母崎経由で帰港する航路。

途中潮の流れで大きい波はありましたが水面はのっぺりとした静かな波でした。3日間とも晴れ。

日本国内の至る所で大雨を降らせた低気圧の影響を感じる事もなく、恵まれた行程でした。途中トローリングでまたシイラがかかりましたが小さいものだったのでリリースし、その後樺島沖、三ツ瀬沖、高島沖では二人に鯛などの釣果がありました。

14:50 無事長崎サンセットマリーナに帰着し、3日間クルーズの楽しさと長崎、熊本の自然の幸の素晴らしさを満喫出来た旅を終えました。

(北村さん)

② イベント参加報告

1) 帆船 海王丸 登しょう礼に参加して

◎ 海王丸 総トン数2556トン 全長110m マストの高さ(甲板上)約44.5m

最大搭載人数199名(実習生等定員130名)

3月4日(土) 13:00大阪港天保山岸壁より出港と情報を得て参加。

セイルオーから、タカさん、土井さん、私。(中路さんは海上サザンクロスから見ておられたそうです)

晴天の中、出港セレモニーがあり、研修生一同整列し、港区、港湾局の方々の歓迎挨拶、花束贈呈、船長のお礼の挨拶がありました。挨拶の中で、今回の研修生は69名で、この航海で研修終了の方や、次に進む人もあります。とのこと。将来の若き海の勇者、働き人達が、安全で、良き働きをされますようにと願い祈りました。

さて、念願、待望の登しょう礼。

笛の合図で、研修生数人ずつ、次々と機敏にマストに昇っていく。見ていた子供の「がんばって!」と数回の声援。これがとっても可愛くて・・・

全員位置につくと、やはり、笛の合図に、右手でぼうしをとり手を挙げる。何度見ても素敵です。感動です。心がふるえます。そして、一番上はどんな景色でしょうか?

実は私も2000年12月「海王丸1日海洋教室」に参加。一番下のマストに上った経験があり興味津々(今はとでもチャレンジできませんが(笑)そんな感慨にふけている中、吹奏楽の演奏に見送られ、次の港目指して岸を離れ進んでいきました。

岸壁には、多くの港湾局の方、市民、ボランティア団体も来られていて、土井さんが積極的に交流。セイルオーの紹介、宣伝をされるのに感心しました。その中で、神戸のボランティア活動をされている方が国際旗を持ってこられていて、出港の船にむかって旗をふられていました。聞くと「U」と「W」で「ご安航を祈る」の意味があることを知りました。私は国際旗をもっと勉強して、セイルオーにも旗があればいいのと思いました。

そのあと、余談ですが、築港小学校に、稀勢の里関と高安関が来られ、「港区民のふれあ

い交流会」があるとのことで、土井さんと参加。相撲の大阪場所の時は、稀勢の里関の部屋である田子の浦部屋は築港高野山で、稽古と宿泊をされているそうです。そこには練習用の土俵があり新しい発見でした。

素晴らしい登しょう礼を見せていただき、「時の人」にも会えて有意義な一日でした。

(岩村清美さん)

2) 毎年恒例 Sail'O' & ウィンズ お花見

朝06時30分、大阪城公園のいつもの場所に着く。前日が雨で当日も天候が危ぶまれたためか誰もいない。好きな場所を選べる。地面は湿っているがビニールシートで場所を確保。肌寒いので、お酒で暖を取る。7時、今年も高見さんが来られる。曇り空だが例年通りの花見が出来ました。暗くなりかけた18時後片付け。朝方一時パラついたけれど。

(中路さん)

3) 入港パレードにに行ってきました ～帆船フェスティバル 2017 海フェスタ神戸～

日程：2017年7月15日

時間：帆走 11:00～15:00、ルーズセイル入港 13:00～16:00

見学場所：メリケンパーク ほか

参加帆船、艦艇：日本丸、海王丸、みらいへ、Ami、咸臨丸、オーシャンプリンス（以上、日本）、パラダ（ロシア）、コリアナ（韓国）、

7月15日（土）に神戸港に入港パレードを見に行きました。

インターネットで調べても詳細がわからず、13時ごろにモザイクやメリケンパーク辺りにと予定を立てて、たどり着いたのは遊覧船のりばでした。フォトクルージング 14:00 出発分完売と書かれたポスターがあちこちに貼ってありました。

スタッフの人の話では、通常のクルージングは運行中だが、帆船を見ることができかどうか分からない。運が良ければすれ違ふかもしれません。とのことで、遭遇しない可能性があると思い、陸で待つことにしました。

さて、どこで待とうか…と迷っていると、別のスタッフの人が「公園（メリケンパーク）の方の突堤で待たれている方が多いようですよ」と教えてくれ、メリケンパークに向かって歩き始めました。歩いていくと、たくさんのテントが設営されており、飲食店や雑貨のお店になるようで、搬入などの準備が進んでいました。そこを通り抜けると、ようやく海と空がひろがっている場所に出ました。多勢の人が岸壁沿いにいるのも見えました。

岸壁沿いには4～5段程の階段があり柵があつて、波打ち際にはテトラポットが置かれていました。船は着岸できない場所でしたが、座れる空きスペースがあつたので、ここで待つことにしました。それからしばらくのんびりと海を眺めながら待っていました。

14時になると警備艇が目の前を通っていくなど動きが出始め、もうすぐだと期待が高まりました。はるか向こうでは歓迎放水もカラフルに始まりワクワクしました。私の見学していた場所は、海の方を向くと右側にオリエンタルホテルとルミナス神戸が停泊しているのが見える場所でした。あっ！！ホテルの陰から一隻の帆船が姿を現しました！！！！

“ようこそ～”と心の中で叫びました。

船によってはホテルの向こう側に着岸するものもあり、1cmほど見えた後見えなくなることもあり、双眼鏡が必要だったと思いました。「日本丸」、「海王丸」など続々入港してきました。少し場所を移動して「みらいへ」の着岸も見ました。あっという間に時間が過ぎて時計を見ると16時ごろでした。「パラダ」を近くで見たかったのですが、着岸場所が遠く、疲

れがでてきたこともあって、あきらめて帰路につくことにしました。

帰りに神戸ポートタワーのお店で休憩し、ソフトクリーム(神戸プリン風味)を食べて観光気分も満喫しました。久しぶりに海をのんびり眺めてワクワクした一日でした。

(中津留さん)

4) 神戸帆船フェスティバルに参加して ～帆船フェスティバル 2017 海フェスタ神戸～

7月15日、帆船パレード観覧船は落選したが、帆船は見たくて神戸港へ向かった。それにしても神戸市の広報が見当たらない。元町駅でもポスターも貼っていなければ、チラシも置いていない。ホテルオークラを目印に南下する。

11時、第一突堤は人も疎ら。魚崎から来た人も昨日港湾局に電話して来たが、昼過ぎらしいよ、そして朝来た人はみんな帰ったとのこと。残っている人も3時ごろ着くらしいよ、などなど。待つしかない状況である。一眼レフのカメラを持った人、鯉のぼりを持った人、京都から来たご夫婦は舞鶴や長崎の帆船フェスも行かれたとのこと、やはり帆船好きが集まっている。

暫くするとスタッフがダンボールを抱えてやってきた。ここでやっと、チラシやスタンプブック、うちわを手に入れた。

2時過ぎ、沖合にマストの帆船が浮かんでいる。序々に近づいてくるとシャッター音が鳴り出し歓声がおこる。船の中から多くの人が皆手を振る。しかしそれは神戸港内を巡る観光船とわかり、一堂おおいに落胆する。

岸壁には神戸市消防局の音楽隊が並び、沖ではカラー放水が始まり、来場者も増えだした。入港セレモニーが始まろうとしている。さすがに3時には大きな帆船のマストが見え出した。陽炎のなかゆったり、しかしこちらにしっかり進路を定めて向かってくる。映画、パイレーツ・オブ・カリビアンの一シーンをしているようだ。海王丸、日本丸と次々入港。暑いけど待った甲斐があった。そして最後、ロシアのパラダが登しょう礼で入港すると、岸壁の興奮は最高潮に達した。

16日、17日私は参加できなかったが、2日とも行った知人の話を聞き、写真も見せてもらった。開港150年記念に相応しい、クルーと市民との交流があり、盛大なイベントであったことが伺われ、私も祝祭を共有した。

(篠原眞知子さん)

3. その他情報

① 帆船情報

1) クオウテモック東京寄港

メキシコの帆船、クオウテモックがシンガポールに寄港しています。

9月には東京晴海に来航するそうです。

クオウテモック：メキシコの練習帆船。Sail Osaka '97にも参加。

Embajada de México en Japón

SE INVITA A PÚBLICO EN GENERAL A VISITAR BUQUE ESCUELA CUAUHTÉMOC, EL CUAL ARRIBARÁ A TOKIO EL 6 DE SEPTIEMBRE

メキシコ海軍練習帆船クアウテモック号船内一般公開のご案内

「憲法制定100周年」と題する2017年度練習航海は、Heroica Escuela Naval Militar (メキシコ海軍士官学校) 4年生の操船実習を目的としており、9ヵ月半にわたる巡航の中、12

カ国 15 港を訪問します。

同船は、7月24日にシンガポールを出帆し、マニラ、上海、釜山を経て、9月6日には東京に到着、11日まで停泊します。

つきましては、船のデッキ、隔壁、船具の精巧さをご覧いただくため、船内を一般公開致します旨ご案内申し上げます。1億2,000万のメキシコ人の真の代表者であり、平和と善意のメッセージを携えた大使としての役割を担う乗組員について知っていただく機会にもなりますので、奮ってご参加ください。停泊場所は晴海埠頭を予定しており、9月7日から10日の4日間、10時から18時まで見学いただけます。

SE INVITA A PÚBLICO EN GENERAL A VISITAR BUQUE ESCUELA CUAUHTÉMOC, EL CUAL ARRIBARÁ A TOKIO EL 6 DE SEPTIEMBRE

El Crucero de Instrucción 2017 "CENTENARIO DE LA CONSTITUCIÓN", diseñado para las y los cadetes del cuarto año de la carrera del Cuerpo General de la Heroica Escuela Naval Militar, es el cuarto viaje de circunnavegación del Buque Escuela Cuauhtémoc. La travesía durará nueve meses y medio, tiempo en el que se visitarán 15 puertos de 12 países.

El Buque Escuela Cuauhtémoc partió el 24 de julio del Puerto de Singapur, Singapur, con rumbo a Manila, Shanghái y Busán, y estará arribando a Tokio el 6 de septiembre, para posteriormente dejar tierras japonesas el 11 de septiembre de 2017.

Se invita al público en general a conocer la perfección de sus cubiertas, mamparos, maniobras y aparejos, al igual que a la tripulación, la cual es una muestra genuina de los más de 120 millones de mexicanos, y que se presenta como embajadora de nuestro país, al llevar un mensaje de paz y buena voluntad. El buque estará anclado en el muelle de Harumi, y se podrá visitar de 10:00 a 18:00 hrs., del 7 al 10 de septiembre.

(谷口さん)

編集後記 :

7月に小型船舶免許1級を取得しました。海の幸で一杯やるだけでなく、長崎居住の地の利を生かしてマリンスポーツにも親しんで参りたいと思います。(北村)

久しぶりに大学の後輩から連絡があり、来年神戸で国際ウミガメシンポジウムが開催されること。ウミガメの保護などに関する会議です。これもまた海つながりの活動ですね。(辻村)